関東大震災が起こった 9 月 1 日は「防災の日」であり、今年の 8 月 30 日から 9 月 5 日は「防災週間」とされています。日本は災害大国であり、近年の豪雨災害などを考えたとき、防災の日の重要性がこれまで以上に高まっています。また、今年は新型コロナウイルス感染症が流行し、このことは防災を改めて見つめ直すきっかけとなっています。兵庫県立大学は、阪神・淡路大震災がまさに起こったフィールドにあるため、全国の大学と比べて防災教育や災害ボランティアを大切にしていますが、防災について学ぶ、またボランティアに参加する学生は決して多くはありません。

このような背景から今回、私たちは「学生の防災意識を育て、災害に強い社会を築く」というスローガンのもと、学生同士で防災について考える「兵庫県立大学学生シンポジウム」を開催することにしました。このイベントは、普段異なるキャンパスで勉学に勤しんでいる兵庫県立大学学生が、学部を越えて交流しながら、防災について考える有意義な機会です。是非参加して、いろんな発見をしてみてください！

概要

主催：兵庫県立大学学生シンポジウム企画チーム、大学院減災復興政策研究科

日時：2020 年 9 月 5 日（土）

時間：10:00~17:00（オンライン参加者は 10:00~12:10）

場所：HAT 神戸　人と防災未来センター東館 4F

兵庫県立大学神戸防災キャンパス　大教室（対面参加定員 40 人）

および Zoom によるオンライン参加（無制限）

内容

（1）講師（大学院減災復興政策研究科：澤田雅浩准教授）及び代表学生による講演

（2）ワークショップ（WS）

タイムスケジュール

10:00~　開会

10:10~　アイスブレイク

10:30~　澤田雅浩先生のご講演「震災と防災、ボランティア」

11:25~　防災リーダー教育プログラム副専攻生、

学生ボランティア：LAN、bridge の学生による講演

12:20~　お昼休憩、および防災食紹介

13:30~　ワークショップ（WS）「次の災害に向けて私たち学生がすべきこと」

15:00~　WS 発表準備

15:30~　WS 発表

16:30~　閉会

兵庫県立大学学生シンポジウム企画チーム